

テレビ新広島文化大学講演

農業・環境シリーズ第12話 2009年4月21日

「地質学を楽しむ」

沖村雄二

私たちが日常踏みしめている大地と、もし対話ができたら生き方が変わるのではないのでしょうか。路傍の石もそれぞれ顔をもっていて、生まれ育った家庭を話したがるのではないのでしょうか。とまず問い掛けて話をはじめました。広島県の国定公園候補地学術調査報告、西中国山地国定公園と比婆・道後・帝釈国定公園の地質調査で交わした対話の楽しさに加えて、シルクロード諸国で見えてきた砂漠の中の河岸段丘に刻まれた仏教遺跡、北極圏での氷河地形と堆積岩など、日本では見ることのできない露頭の写真を40枚ほど投影して、どんな対話をしたかに触れました。たとえば、ラサのポタラ宮殿が建っている丘は、古太平洋の深海で形成された堆積岩（チャート・珪質泥岩）でできていることなど、対話してきた岩石を展示して、実際に触ってもらいながらの講座生の方々との対話も、ひじょうに楽しいものでした。

